

部会の活動概要、CAFМ動向・3次元ソリューション動向説明

コンピュータ活用研究会

発表者 部会長:天神良久

【メインテーマ】

「FM領域で係わるICT新技術の調査」

「CAFМの利用事例調査」を通じてFM領域におけるIT化を調査研究し、会員へ成果を発表する。

※ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)

※CAFМ (Computer Aided Facility Management: コンピュータ支援によるFMのこと。これに関するソフトウェアもCAFМと呼ばれる)

「Eco・Lcc削減を可能にする環境配慮型ICT新技術の調査」

【活動内容】

・月一回:ICT新技術、CAFМ等の勉強会 ・年二回:施設等見学会 ・随時:FM支援ソフトウェア、Tips集のHP更新
 ・勉強会、調査の報告書作成(JFMAセミナー、JFMA FORUM、その他団体で発表)

【メンバー】

天神良久、秋山克己、小木曾清則、定末凡人、木村圭介、山岸順二、森本卓雄、久野誠、野間操、白土裕孝、前澤孝之、梶芳晴、島田透、小川文孝、金川博信、繁戸和幸、鶴町和子、森本泰江、今井美和、牧優子、丹野裕之、澤田務、伊藤秀憲

【活動状況(2014. 04~)】

●第79回「最新情報端末がマラソンで大活躍、ランナーが見る東京マラソン」について

日時:2014(H26)年4月4日(金)

講師:ケー・デー・シー 天神 良久

東京マラソンでのランナーは、計時チップ(57mm×45mmのICチップ)写真①を靴に着けることで、衛星を通じて位置の確認とマラソンの計測が行われます。当初、ランナーの計時チップからの情報は、リアルタイムに公開されないだろうと考え、ランナーにiPhoneから「LINE」の位置情報を5km通過ごとに発信してもらおうという打合せでした。当日の応援団の持ち込んだ情報端末は「iPhone,iPad,windowsPC」です。まずスタート前に行ったのが「応援ナビ」の登録(東京マラソン公式サイトHPから)で、持ち込んだ全ての端末から利用することが出来ました。スタート後、「応援ナビ」を見ると当日の出走者35,000人の走行位置がリアルタイムに画面に表示されることがわかりました写真②

ただ、若干の時間差はあるので、以降は、この「応援ナビ」の情報を中心にLINEの位置情報と併せて走行場所の特定をしました。これでランナーの走行を先読みし、応援ポイントを決め、待ち伏せ・写真撮影・声援が可能になりました。「今、走っている!あれ、歩きだしたぞ! あっ、動かない⇒早くも棄権か!」等々応援団も大いに盛り上がり、マラソンの応援がこれほど楽しいものかと実感した情報ツールでした。

●第80回「Office365とワークスタイルの変革についての見学」

日時:2014(H26)年5月15日(木)

講師:内田洋行 知的生産性研究所 野間 操様

クラウドを利用した「何時でも何処でも」仕事ができる環境、ならびに、名刺もクラウドで管理されている現実に触れて来ました。

●第81回「クラウド型地図情報システムと利用事例の」について

日時:2014(H26)年6月27日(金)

講師:インフォマティクス 池田 昌隆様

写真①



写真②



部会の活動概要、CAFМ動向・3次元ソリューション動向説明

コンピュータ活用研究部会

発表者 部会長:天神良久

【活動状況(2014. 09~)】

●第82回「既存建物3次元測量方法と3次元データ利用方法」の紹介

日時 : 2014 (H26)年9月26日(金)

講師 : シスプロ 水澤 久夫 様 佐藤 純二 様

既存建物3次元測量に関しては、簡易なハンディスキャナー(レーザーパルス:レーザーパルスを測定対象物に照射し、その反射状況を解析して、測定対象物表面の3次元位置情報(X,Y,Z座標値)を点として高精度に計測する機器です)を利用して、建築空間(プラント空間等含め)3次元データが簡易(廉価)に生成できる現代技術を勉強して、BIMへの展開も見えてきたところです。駅ビルやプラントのリニューアル等で実際に利用されている事例と、3次元の点群の情報から、3次元CAD(BIM)へのデータ移行の方法等CADによる実演も行われた。

FMとしての活用方法としては、レーザー計測から取得したパノラマ写真を活用する事で模索中である。

質疑応答では、「レーザー計測による3次元CAD(BIM)データ化の費用はおいくらですか?」と言うような具体的な質問も頂き、場内も盛り上がっていた。

●第83回「遠隔作業支援システム Remote Guide ware」について

日時 : 2014 (H26)年10月27日(月)

講師 : 構造計画研究所 定末 凡人様

●第82回「BIM+FMの決定版 一進化したarchifm.net」について

日時 : 2014 (H26)年11月28日(月)

講師 : シェルパ 高松 稔一様

●第83回「東京理科大学 神楽坂キャンパス」見学可

日時 : 2014 (H26)年12月19日(金)

講師 : 東京理科大学管財課 塚田 幹夫様

12月には「東京理科大学神楽坂校舎リニューアル見学会」を実施しました。

改修前 写真③

改修後 写真④

校舎の平面図は全てCAD化され面積管理されています。エクセルシートへ「建物名、部屋名、部屋面積」がデータ連携したCAFМシステムが稼働していました。当システムで文部科学省への面積報告書の作成も行っているそうです。

写真③



写真④

